

## 学校のよき伝統をつくる「よつぱっ子」に

校長 水橋 渉

令和4年度が終わろうとしています。登下校において大きな事故やけががなく、よつぱっ子が安心して安全に登下校できたのは、よつぱっ子見守り隊、防犯組合、地域の皆様の温かい目での見守りや声かけのお陰と深く感謝申し上げます。私が赴任して3年、これまでは、「感謝の気持ちを言葉で伝えよう」と学校から呼びかけていました。右のポスターは毎週金曜日を見守り隊や地域の方々への感謝デーとして感謝の気持ちを伝えようと、卒業する6年生が2月下旬、下級生に呼びかけたものです。よつぱっ子の中から生まれた、感謝の気持ちを伝えたい、伝えなければならないという思いは、見守ってくださることを「自分たちが大切にしているのだ」と捉えているからこそ、心から湧き上がる思いです。このような自発的な取組が、よきよつぱの伝統として引き継がれます。心豊かなよつぱっ子、よつぱっ子が誇りをもてるよつぱ小学校になることを心から期待しています。



## 校長室の窓から

スキー大会に行ったら  
ぎんメダルをもらった  
しゅんかんに  
「3年生になつたら  
金メダルをとろう！」  
と気合いが入った

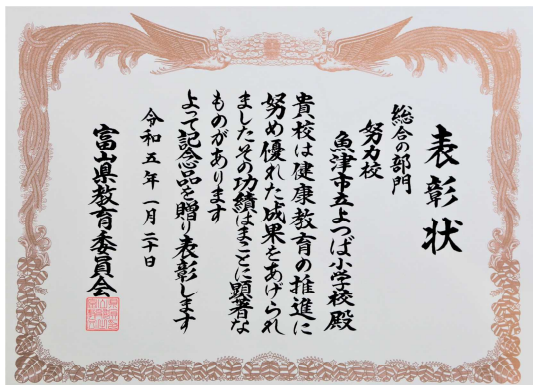
スキー大会  
谷口 そら

①2年生の廊下に、子供たちがつくった詩が掲示してあります。国語科で、生活の中で見たことや感じたこと、心が動いたことを詩にする学習です。どの作品もよつぱっ子の感性が感じられ、私は毎朝の巡回で必ず立ち止まり、掲示してあるすべての詩を味わうようにしています。左の作品はいつも私に勇気とやる気を与えてくれる作品です。市のスキー大会に参加し、2位となり銀メダルをもらったそらさん。普通だったらうれしかったところですが、そらさんは違います。もらったその瞬間に、そらさんにとってのより本気な目標ができ、気合いが入ったと自分に誓いを立てています。学校では、よく目標をもちましようとか、目当てをたてましようなどと子供たちに促していますが、子供たちが切実感のある自分の目標をもつために大切なことは、大人が子供をいかに本気にさせるか、そのような場を用意できるかです。そらさんの作品は教えてくれます。人は、本気になったときに最大の成長となる。そらさんの活躍が楽しみです。

②2月の青空が澄み切ったある日のグラウンドで。1年生が生活科の学習で凧を揚げています。そこから少し離れたところに車椅子ののった男の子がいました。みんなと一緒に凧あげをしたいだろうなと思っていると、一人の女の子が車椅子の後ろに回り、そっと押し始めました。男の子は、車椅子に乗ったまま両手を広げ、気持ちよさそうに風を受けています。授業の終了のチャイムが鳴り、戻ってくる男の子に「どうだった」と尋ねると満面の笑みで「楽しかったよ」と答えてくれました。次に女の子に「どうして押したの」と聞くと、「だって一人ではぼつんだった」と答えてくれました。よつぱ小学校には、喜びを全身で表す男の子と、さりげなくそっと手を差し伸べる女の子がいます。

よつぱっ子って、やっぱりいいな。

# 健康教育実践優良学校表彰



令和5年1月20日に富山県教育委員会主催の健康教育実践優良学校表彰の総合部門(いきいき富山っ子賞)で努力校として表彰を受けました。これは、基本的な生活習慣を身に付けるため毎学期実施している「学習・生活振り返り週間」の取組や保健教育について年間計画に基づき、養護教諭とのティーム・ティーチングでの指導を行うなどして、総合的な健康教育の推進

に成果をあげたことが認められたものです。保護者の皆様のご理解・ご協力があればこそと感謝しています。今後もよつばっ子の健康増進に向けて取り組み、学校の教育目標の一つである「たくましいよつばっ子」の実現に向けて努力していきます。

## お知らせ～令和5年度に向けて～

### 学校のきまりの見直し1

これまで、学校のきまりの服装【くつ下】の色は、白色とすとしてきました。保護者の方からの要望と昨今の教育情勢や生活スタイルを考えてきた結果、令和5年度より、くつ下の色を白、黒・紺等とします。



旧：くつ下は白で、くるぶしが隠れ、ひざ下よりも短い長さのものをはく。  
(ワンポイントの模様があるものは不可。)

新：くつ下は白、**黒、紺等**で、くるぶしが隠れ、ひざ下よりも短い長さのものをはく。  
(ワンポイントの模様があるものは不可。)

### 学校のきまりの見直し2

別紙に、令和5年度の校時運行表を示しました。令和4年度に比べると、下校時刻が30分早くなります。

学校のきまりは子供・保護者、学校によってつくられるものと考えています。今後も学校のきまりについては見直す点等があれば検討していきます。ご理解・ご協力をお願いします。

### 《よつばサロン》の開設

P T A 役員より、学校で保護者や地域の方が気軽に打合せや相談等ができる部屋がほしいとの要望がありました。これまで校舎2階にP T Aの備品を収納する部屋を提供してきました。令和5年度より、2 F 体育館付近にある《談話室》をよつばサロン(仮称)として解放します。部屋の運用については、P T A 常任委員会で検討し、お知らせします。この部屋が保護者や地域の方の絆をさらに深めることになることを期待しています。